



# 宅配ボックス特集 ～宅配ボックスとマイロックのある暮らし～



2021年1月にリリースした新宅配ボックス「I-Delibo Plus(アイデリボ プラス)」は、お陰様でこれまで多くの集合物件にご採用いただきました。

今回は、これまでの設置事例とともに、改めて多くの方々に宅配ボックスを知っていただきたく、改めて製品のご紹介をさせていただきます。



## 【I-Delibo Plus 製品仕様】

- 本体サイズ 650×475×420  
(縦) (横) (奥行)
  - 内容サイズ 590×382×390
  - 重量 17.7kg
  - 材質 ステンレス製(SUS304)
  - 電源 電池式(単3電池4本)
  - カラー シャンパンゴールド
  - 最大登録部屋数 28室
  - 固定方法 アジャスター、アンカーボルト
- ※上記に台座部分は含まれていません。

## マイロックとの相性が抜群！

マイロック(VF-10)も宅配ボックスも**カード1枚で利用できる**ので**簡単・便利**！これまで**宅配ボックスをご採用いただいたほとんどの物件でマイロックもご採用いただいております**。空室対策としての新規募集アイテムとしてはもちろんのこと、入居中の入居者様の満足度向上にも大変喜ばれています。これからマイロックの導入をご検討されている方、既にマイロックが設置されている方も、ぜひ一緒に宅配ボックスの設置を検討されてみてはいかがでしょうか？

## 《これまでの設置事例(一部)》



## 集合物件を意識した設計に

荷物の受け取りは号室ごとに登録されたカードをかざすだけ！  
(暗証番号による解錠可)

見やすい7セグ表示。ボタンを押せば荷物のお届け先がすぐに分かります！

電池交換忘れの不安…。もしもに備えて外部から電源供給ができるよう設計されています！



## そこが知りたい！実際の運用方法

どんなに良い商品であっても、賃貸物件のオーナー様、管理会社様にとって、やはりその運用や管理方法が気になるところ。あまり煩雑だと業務負担が増え導入に躊躇されてしまうものだと思います。そこで、少しでも皆様の不安解消にお役立ちできればと思い、これまでの運用実例をご紹介します。

### 【運用実例】

- ①入居者様には登録済カードのみを渡し、暗証番号は設定はするがお知らせしない。暗証番号はカード紛失時など例外的な場合に限りお伝えし使用する。
- ②運用は暗証番号のみ。登録済カードは緊急時用に保管しておく。

実際のところ、**多くのケースで①が採用**されています。カードのみの運用であれば、**退去時にカードを返却してもらえれば新たな設定作業が必要無く業務負担が発生しません**。いずれにせよ、「カードのみ」又は「暗証番号のみ」に絞ることが管理業務の負担軽減を考える際のポイントのようです。



## 社内研修レポート～第2弾！in東京営業所

先月に引き続き技術担当の新入社員1名が東京営業所へ研修として参加したときの様子をご紹介します。研修では現場研修だけでなく、山口県や九州地方とは異なる東京エリアならではの事情、仕事の取り組み方も先輩社員から教えてもらうことにより、より広い視点で自らの仕事を考える機会となってくれたと期待しています。普段は各営業所で離れて業務に取り組む私たちですが、お互いを知り理解することが会社全体のチームとしての力を底上げしてくれるものと確信しています。

### ～現場レポート～

#### ①集合住宅でのマイロック設置

既築物件の場合は、事前に入居者様と訪問時間の調整を行い、施工当日はその日程に遅れが発生しないようにしなければなりません。先輩社員は日程表を一つの資料にまとめてすぐに確認できるようにし、常に時間を意識した行動を心掛けていました。また、マイロックの設置だけでなく、その後の入居者様への操作方法の説明も、とても分かり易く丁寧に行っていました。



先輩社員指導の元、実際に穴開けや施工の手伝いもさせていただきました。



東京の技術担当M社員。先輩の姿を観察することも勉強です。

#### ②遠隔システムボックスの設置

既に共用入り口に設置済みのマイロックを室内から遠隔解錠できるようにする工事でした。事前にシステムの内容を学んで臨みましたが、実際に現地で作業を見ると代替品が無く失敗が許されないという点で想像していた以上に緊張感がありました。私の目標はまずはマイロックを正しく設置することを習得し、近い将来、先輩方のように幅広い業務がこなせるよう勉強していきたいと思ひます。

### ～これまでの研修を振り返って～

先月の第二営業部での研修に引き続き、今回は東京営業所での研修に参加させていただきました。どちらも本社と異なり少人数で運営しているため、時間管理、情報共有が特に大切であると感じました。また、実際の工事だけでなく、先輩方から仕事に対する考え方や姿勢を教えてください、今後の業務に活かしていきたいと思ひます。なお、現場への移動手段として、東京営業所では公共交通機関を利用することが多く、地方と都市部との違いも実感しました。今回、研修に参加させていただき様々な現場、そして様々な方と交流させていただき、私もセキュラの一員として日々学び、成長していきたいと思ひます。

## 「不動産市場の2022年問題」とは・・・

1972年に主に都市部での緑地確保のために制定された「生産緑地法」は、1992年に改正され、「生産緑地」の指定を受けると固定資産税の軽減や相続税の納税猶予などの税制上の優遇が受けられる代わりに、地主は30年間の営農義務が課される制度でした。もっとも、その改正の背景には当時の不動産バブルによる都市化と地下暴騰を抑制する狙いがあったと言われています。その**生産緑地の指定を受けた8割の土地が2022年に30年を迎えます**。農業を継続する意思や後継者がいれば別ですが、そうでない場合は指定から30年が経過すると地元自治体に農地の買い取りを申し出ることができ、財政難などから買い取れない場合や他の農家の買い手がつかない場合はその指定が解除され、結果、優遇が受けられなくなった土地は**宅地として大量に不動産市場に流れ込むと予測**されています。その影響で**地価の下落、賃貸物件の大量供給等が起こる可能性**が指摘されており、それが「2022年問題」と言われています。実際にどれ程の影響が出るのか、限定的なものに収まるのかは未知数ですが、来年の不動産市場の動きに注視が必要です。



### 今月の言葉

「自信が確信に変わりました」

松坂大輔投手

相撲界では横綱白鵬関が引退しました。白鵬関は前人未踏の幕内優勝回数45回をはじめ様々な記録を塗り替えてきましたが、右膝の故障が回復せずこれ以上相撲をとることができないと判断し引退を決断しました。野球界では高校野球のスターであった斎藤佑樹投手、そして「平成の怪物」と呼ばれ「松坂世代」とその名前が使われる投手であった松坂大輔投手も引退しました。

松坂投手は甲子園で春夏連覇を果たし、鳴り物入りでプロ野球界に飛び込むと、既に5年連続の首位打者を獲得し全盛期であったイチロー選手との初対戦で3三振を奪い、試合後のインタビューで「自信が確信に変わりました」という言葉を残しました。当時、若干18歳の青年の言葉としても驚きですが、一方で、それだけの経験と練習量があるからこそ発言できる言葉とも言えます。

アスリートの世界は、その競技にもよりますが、肉体的なピークもあり20代～30代前半くらいが全盛期と言われます。その点は一般的な社会人とは異なりますが、しかし、私たちも普段行っている仕事に対してどれだけ「確信」を持って臨んでいるでしょうか。私たちも松坂投手のように胸を張って確信を持って仕事に取り組みたいものです。

どんなアスリートも始まりがあれば必ず終わりがやってきます。しかし、その勇姿はいつまでもファンの胸に刻まれています。まずは引退された選手に対して「ありがとう」そして「お疲れさまでした」とお伝えします。